

意 見 書

鳥海地域協議会

事 項	「(仮称) 鳥海地域総合ミュージアム建設に係る要望事項」について
-----	----------------------------------

意 見 内 容
<p>鳥海山の雪深い裾野に暮らし、脈々と伝承されてきた伝統芸能や民俗文化。これらの芸能・文化を次の世代に伝えていくことは、私たちの世代の責務であります。</p> <p>当鳥海地域は、本荘由利一市七町合併協議会が策定した「新市まちづくり計画」における鳥海山麓観光交流ゾーンとして位置づけられ、平成18年3月に策定された「由利本荘市総合発展計画」においては、「鳥海地域総合ミュージアム」として具体的な整備地点は明示されていないものの、旧矢島町の花立牧場公園・鳥海高原矢島スキー場、旧由利町の青少年旅行村・子吉川水辺プラザ、旧西目町の浜館公園などとともに拠点施設整備事業の一つに掲げられているところであります。</p> <p>平成16年3月、鳥海町地域づくり研究懇談会では、鳥海町が鳥海国定公園に位置し、通年観光の推進拠点であることに鑑み、鳥海山並びにその山麓の伝統芸能、伝承文化を国内外に発信しながら地域の活性化を図ろうと「鳥海地域総合ミュージアム」構想を提唱し、これが「新市まちづくり計画」に登載された端緒でもございました。</p> <p>鳥海地域協議会では、その構想案に盛り込まれたものの中から、財政上の観点等を踏まえ、この地域の特性に主眼をおいた施設整備に絞り込み、次により当該施設・機能の一部を鳥海地域へ建設されるよう、市当局にお願いすることといたします。</p> <p><b>【施設の必要性】</b></p> <p>■ 東北第2の高峰「鳥海山」。2006年9月には皇太子殿下も当地猿倉地区ホテルフォレスト鳥海を拠点に、絶好の登山日和にお登りになり、その景観をめでたとされており、このことにより鳥海山の知名度も高まり、この後更なる入山者の増加が予想されるところであります。</p> <p>しかしながら、この鳥海山は雨が多いことでも知られ、入山者がその目的を果たせず、無念の思いで帰途につく後ろ姿を目にする場合が多々ありました。</p> <p>また、鳥海地域には、今を去る380年前の江戸初期寛永年間に伝えられた本海番楽が、先人たちの篤い思いにより今日まで保存、伝承されてきました。幾多の困難にも遭遇し、これを乗り越えて今日まで保存、伝承されてきたことはまさに芸能の持つ生命力の強さの証とも言えましょう。</p> <p>岩手県花巻市の早池峰神楽(岳神楽・大償神楽の総称)は、昭和51年国重要無形民俗文化財第1号指定を受けた、正に日本を代表する民俗芸能の一つであることはいまでもありません。後継者難等の幾多の困難を乗り越え今日に至っており、海外公演も数多く、国内公演は年間50回に及ぶとのこと。神楽の全国大会も行われ、その名は全国に知れ渡り、ワインと神楽の大迫として芸能と産業が有機的に結ばれ相乗効果をもたらし、地域産業の振興や人々の生活のありようにも多大な影響を及</p>

ぼしていることは間違いないことでしょう。

先般見学いたしました大迫郷土文化保存伝習館は、農林関係の補助事業ということで、建物ありきが先行し、伝習の場、展示施設としてはもの足りない感じが否めませんでした。補助事業ということで、やむを得なかった面もあると思いますが、どういう目的で建設するのか、その位置づけを明確にし、使う人や鑑賞者、研究者などの意見を参酌しながら、今後の建設構想に反映していかなければならないものと考えます。

鳥海地域においては、これまでもある種の「非日常性」というコンセプトを軸に、観光施策が講じられてきたところではありますが、今後とも多様な資源や多彩な手立てを駆使して「鳥海登山・鳥海山麓の伝承文化」を生で、或いは仮想・疑似体験できる施設が必要、とされるに至ったところがあります。

#### 【施設に求める機能性】

##### ■ 「文化・教育機関としての本来機能」

###### □ ビジターセンター的機能

- ・鳥海山の成り立ち・動植物・四季のうつろいetc.
- ・観光案内・登山ルート案内etc.

###### □ 教育学習・地域文化発信機能

- ・鳥海山に係わる祭礼・祭事等の紹介
- ・本海番楽獅子舞・「獅子舞と番楽の里 鳥海」の発信のために。  
「番楽の館」・・・獅子頭等展示場、伝承演目及び郷土芸能等公演用ホール etc.
- ・山麓の文化財等紹介

###### □ 健康増進・レクリエーション機能

- ・屋内ボルダリング設備（人工岩場etc.）

#### 【展示品の確保等及び・他の施設とのネットワーク化】

##### ■ 「最新的话题を提供する手立ての確立」

- 他施設との共用可能スペースの確保
- 陳列物のレンタル利用・収蔵スペースの確保
  - 「不用となったもの」の羅列展示では意味がない。

#### 【アメニティ】

##### ■ 「知的欲求・生理的欲求・癒しスペースの充足度」

- 雄大な自然環境、電線のない快適空間
- 自然・高温泉
- 安全安心の農畜産物部門との連携
- 足湯施設・コージェネ施設

#### 【収益構造】

■「サブ施設・事業の展開による収益確保による本来機能の持続確保」

- レク施設（屋内ボルダリング設備等）設置による利用者からの応能負担
- ミュージアムグッズ製作販売
- 会議、ブライダル関連への施設レンタル料 etc.
- 管理代行制度の活用によるコスト低減への指向

【相乗効果の追求】

■「地域住民・団体による“もてなしの心”の醸成」

- 既存資源・施設の有機的連携と活用
- 共有スペースの徹底活用による施設のコンパクト化・リニューアルの容易性の確保
- 「源流米」、地産地消の推進、食材提供体制の確立 etc.

【建設地のお願い】

□ **鳥海地域総合ミュージアム（機能の一部）**は、「鳥海山」という語感がイメージさせる“清冽さ”からして、鳥海山の直下、鳥海高原部の滞在型観光の拠点施設として位置付けられる **ホテルフォレスト鳥海 隣接地**に、ホテルとの共用機能、共用スペースの活用が図りうるような施設配置により、鳥海山麓一帯の施設・機能の分担や連携を考慮しながら**構想の具体化と建設の実現**をお願いいたします。

※添付書類 なし